

保護者各位

ICM 国際メディカル専門学校・学校通信

日頃より本学の専門教育にご理解をいただき誠にありがとうございます。国際メディカル専門学校では、医療・福祉の現場で即戦力として活躍できる人間力育成を目標とし、下記の教育方針に基づき様々な角度から教育を行っています。年間の主だった活動状況を、保護者様とも情報共有させていただきたく、本通信にて平成30年度の活動の様子についてご報告させていただきます。今後とも就学生活の様々な面において保護者様からのご理解ご協力をお願い申し上げます。

《人間力育成のための学校教育方針》

実践行動学	自らの夢を描き、実現のための目標を明確にすることで、モチベーションを向上・維持し、また諦めず継続的に学習し目標達成に向け前向きに行動することができる。
礼儀・礼節	あいさつは人間関係の最も重要なコミュニケーションであり、笑顔で元気にあいさつを交わすことができ、状況に応じた正しい言葉遣いや行動ができる。これらの言動を通して感謝の心を持つことができる。
清潔	自らの身だしなみを整え、校舎内・外の環境をきれいに保つことで、自らの心を磨くことができる。
地域貢献	地域行事への参加を通して地域に関心愛着を持ち、地域社会の一員であることを自覚することができる。
国際理解	海外研修や留学生との交流を通して、異文化を受け入れ、素直で他を尊重する精神を持つことができる。
奉仕	ボランティア活動を通して、他人を思いやる謙虚な気持ち、公共のために尽くす心を持ち、人と人とのつながりを実感することができる。
集団行動	集団の中で他者と協調し、達成すべき目標や行うべき行動の実現を通して、リーダーシップを学び自ら果たすべき責任や役割の重要性を身に付けることができる。

【集団行動・チームビルディング研修（1年生）】

165名の新生を迎えての4月新年度スタートとなりました。毎年、全新入生を対象とした「チームビルディング研修」を行っています。本研修は、上越妙高市「NSG 妙高園」を宿泊先に、新入生同士のコミュニケーションを図ることと、友人作りも目的とした合宿形式の研修です。研修の名の通り、いくつかのチームに分かれ、知恵を出し合い協力して様々な課題を解決していく実践的プログラムです。将来的に医療機関に就く人材にとって、他の職種の役割も理解・尊重し、一人の患者様をサポートする「チーム医療」の考えが大切です。学科の垣根を越えての学生間コミュニケーション、親しき中でも節度ある接し方、相手を思いやる気持ち、協力姿勢など、様々な行事の中で体得していただき、お互いを尊重し合える「チーム医療」の一員として成長していただきたいと期待しています。



【国際理解（海外研修6月、留学生交流会7月・12月）】

「国際理解」の教育方針に基づき、また、国際情勢の中での日本についての理解も深めてもらうことを目的に、2年次研修旅行では海外研修への参加を推進しております。今年度はシンガポール、台湾の2コースにて海外研修を実施しました。シンガポールでは現地の最先端病院の見学をさせていただき、最新技術が導入されている海外の医療現場を目の当たりにし、日本の病院との違いや共通点について知ることができました。台湾では現地の医療福祉施設を見学させていただきました。台湾は、今後迎える高度高齢化社会に対して日本と共通の課題を抱えています。そのため、保険制度など国の医療福祉政策には日本の政策や考え方をモデルとしているところも多いとのことでした。また、いずれのコースも参加学生たちはグループでの現地市内散策やオプションツアーの要所で、英語やジェスチャーを用いて現地の方とのコミュニケーションを図っていました。言語や文化の異なる人とのコミュニケーションの難しさを体感するとともに、国際化時代において共通言語を用いたコミュニケーションの必要性について考えるよい機会になったことと思います。

また、NSG カレッジリーグ姉妹校では多くの留学生が語学や日本の文化について学んでいます。日本にいながらに他国の文化に触れる機会として、当校では留学生との交流会を年2回実施しています。交流会では、毎回工夫を凝らし、それぞれの学校で学んでいること、文化の違いについての情報交換を図っています。夏の部では七夕を囲んでかき氷をいっしょに作り食べながら、冬の部ではクリスマスケーキを囲んでのパーティー形式で楽しくコミュニケーションを図りました。

昨今の日本では、インバウンドや留学などで来日する海外の方が急増しています。学生たちが将来目指す医療機関においても外国人の治療や診察をする、いっしょに働くといったことが当たり前になる時代が到来します。若いうちから国際化を見据え、身近なところから異なる言語や文化に積極的に触れてほしいと願っています。次年度対象学生の海外研修参加推進に対しても何卒ご理解のほどお願い致します。



【NSG カレッジリーグ合同イベント】

★NSG 夏フェス（大学園祭） 7月

7月、今年で3回目となるNSG夏フェス（合同大学園祭）が朱鷺メッセにて行われました。県内の全カレッジリーグ校が2日間に渡って模擬店や学校紹介ブースを出店、各種アトラクションやステージイベントも複数実施され、2日間参加動員約4万2千人を超える大イベントとなりました。今年度は各校の関連企業団体とのコラボブースが設置され、看護学科・臨床工学技士科・鍼灸学科との関係企業として「魚沼基幹病院」「新潟県臨床工学技士会」「株式会社GENKIDO」に同イベントに参加いただき、職業・業界の啓蒙にご協力いただきました。いずれの関係先にも卒業生が就職しており、卒業生にも運営に関わっていただきました。在校生たちもブース、模擬店の運営をしっかりとこなしながら、各種アトラクションやイベントを楽しんでいました。

次年度は7月13、14日開催を予定しています。保護者の皆様も是非会場に足をお運び下さい。



★にいがた総踊り 9月

オールジャンルの踊り手が全国から新潟に集う日本最大級のダンスフェスティバル「にいがた総踊り」、学校としての参加も7年目を迎えました。市内各校からも総踊りチームが結成され、学生を中心に練習を重ねて本番に臨みます。当校は毎年、GIA新潟国際自動車大学校との合同チームで参加しています。今年は昨年からの継続参加学生が少なく、練習開始当初は明確なリーダーが不在のままスタートとなりましたが、両校学生同士の協力と新たなリーダー発掘により団結力も高まり、最終的には新潟市内中心街にて大勢のお客様の前で今年も学生らしく元気な踊りを披露しました。参加学生の満足度は高い行事です。「みんなでいっしょに踊る」と楽しいです。学生のうちにたくさんの思い出を作り、学校生活を送っていただきたいと願っています。



★NSG 大運動会 9月

第5回となるNSGカレッジリーグ生総勢5,000人規模の大運動会（会場：デンカビッグスワン）が行われました。ICMは他2校との合同の桃色チームで参加となりました。昨年度同様にギネス世界記録に挑戦する企画が

実施され、男子 100m 走世界記録保持者ウサイン・ボルト氏の決めポーズ「ライトニング・ボルト」の同時ポーズ人数記録（約 2,600 人で一斉ポーズ）にチャレンジし見事達成となりました。この他、様々な競技が行われましたが、机上での勉強から少し解放され、伸び伸びと競技に参加する学生の様子がうかがえました。



日本診療情報管理学会学術大会学生セッションで銀賞を受賞！！

Pick Up News

9月、朱鷺メッセにて開催されました「第44回日本診療情報管理学会学術大会」に本校の診療情報管理士学科学生がボランティアおよび学生セッション発表者として参加しました。全国からも1,500人を超える診療情報管理士や病院スタッフ、医療系学校の学生が来場し、講演やシンポジウムがおこなわれました。同学会に向けて診療情報管理士学科3年生が学生セッション5演題をエントリーし、学会当日の発表に向けて各種調査やプレゼン練習を日々重ねてきました。学生セッション総数55演題の中からICM学生演題の1つ「医療従事者が認知する診療情報管理士業務の現状」が見事に優秀演題に選ばれ『銀賞』を受賞！！初めての学会発表で素晴らしい成果でした。2月の診療情報管理士認定試験に向けても弾みとなりました。



【国家試験・目標検定に向けて】

各科が目指す国家試験、検定が迫って参りました。「全員合格達成」を共通の合言葉に、学生指導と学校全体の雰囲気作りに力を注いでおります。強い気持ちと自信をもって、悔いのない受験をし、合格を勝ち取ってくれることを期待しております。保護者様からも励ましの言葉をかけてくださいますようお願い致します。

- 診療情報管理士認定試験（試験日：2月10日 会場：新潟 / 発表：3月22日 日本病院会 HP）
- 看護師国家試験（試験日：2月17日 会場：東京 / 発表：3月22日 厚労省 HP）
- はり師きゅう師国家試験（試験日：2月24日 会場：新潟 / 発表：3月26日 厚労省 HP）
- 臨床工学技士国家試験（試験日：3月3日 会場：東京 / 発表：3月26日 厚労省 HP）

本通信は、学校全体の取り組みに関する報告となっています。学科または学生個人に関する報告や相談に関しては、それぞれ学科担当、クラス担任を通じてご確認ください。なお、学校ホームページブログ、Facebook 専用ページ、YouTube 専用チャンネルなどでも、イベントや活動の様子を随時配信しております。それぞれのチャンネルには下記学校ホームページから入れますので是非ご覧下さい。

